

大学院特別講義（医歯学先端研究特論）

演題：医療事故 ヒヤリ・ハットの情報収集による原因分析

－再発防止と無過失補償による紛争解決－

講師：後 信（うしろ しん）先生

公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事

医療事故防止事業部長

日時：平成25年11月19日（火）

18時00分～20時00分

場所：1号館6階 歯学部演習室1、2

講義要旨：医療分野の第三者機関である当機構では、医療の質の向上や安全の確保のために、医療事故情報を収集し分析する医療事故情報収集等事業や、産科医療の無過失補償制度などの事業を運営している。このうち、医療事故情報収集等事業を中心に、歯科医療に関わる様々な手技や処置、ガーゼなどの異物の体内残存や、医療全般に係わる画像検査、病理検査結果の確認忘れなど、様々な技術的なテーマについて分析した結果を説明する。





医療安全がご専門で、全国の病院のヒヤリハット事例に知悉されている後先生にレクチャーをお願いしました。世界を目指しているけど足元がおぼつかない病院、立派そうに見えて周回遅れの病院など耳の痛い事例がどんどん出てきました。前車の轍を踏まないように他山の石としたいところです。

この講義の要旨のスライドを後先生の御好意で share して頂きました。

下記に up されています。

<http://www.knowledge.scot.nhs.uk/together/knowledge-into-action/implementation/actionable-knowledge.aspx>

(右側の中ほどの“Related Resources / Quicklinks”の“Learning from Adverse Events in Japan - Actionable Knowledge solutions”です)。

お忙しい先生と恒例の懇親会をする余裕もなく残念でしたが、また来年も、しっかりしたデータに基づく、有意義なお話を拝聴することを楽しみにしております。